

第30回 うつのみやこども賞だより

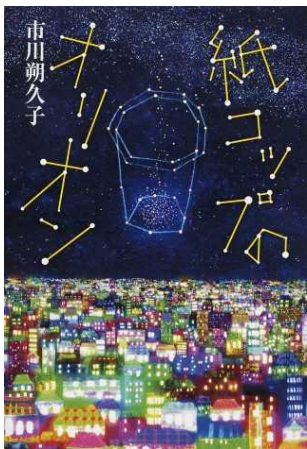
平成25年度 8回
2014年1月12日発行

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『紙コップのオリオン』

市川朔久子／著（講談社）



～読んだ本の感想よ～

- 今までとちがい主人公の学年が中学生だったので、やることや言うことが大人っぽかったです。それに、主人公がどんな立場におかれているのが短くまとめられていて、分かりやすかったです。
- キャンドルナイトでみんなが一つになれた気がしてとてもよかったです。花火の流星のシーンも感動できました。
- 物語の中に出てくる言葉の一つ一つに感動した。
- 論理のてい案したキャンドルナイトを自分の学校でしてみたいです。

●最初はやる気のないメンバーとともに紙コップをつかって星座をつくらりと色々なアイデアを出しながら最後に成功するのがおもしろかった。

『がむしゃら落語』 赤羽じゅんこ／著（福音館書店）

- 『省エネ人間』なんてよばれている主人公がらくごとであったこととかわっていくのをおもしろかった。私も落語をやってみたくなった。
- いろいろな落語家が出てきておもしろかった。
- 教えてくれるはずの笑八さんがちゃんとやってくれないところがどきどきしました。
- 伝統を守ってはいるけれど、大半は役者の好きなようにえんじていい。そんな落語なら私も見てみたいなー。

『なんちゃってヒーロー』 みうらかれん／著（講談社）

- 子どもだけで特撮をつくるなんてすごいと思った。ガモーたちの強い絆も良かった。
- ヒーローの夢を持っていることにびっくりしました。
- 登場人物のあだ名がみんな個性的で印象に残りました。
- 子どもも大人に負けずいろんなことができるというのがわかった。
- 『完成披露試写会』で、お母さんがみとめてくれたことがびっくりした。二作目も作ってほしいなあと私も思った。
- 仲間の大切さが伝わりました！

『ジャンピンライブ!!! オンザストリート』

関隆人／著（そうえん社）

- どんなにおなかがすいてさみしくてくやしくても、何か熱中できるものが一つでもあれば乗り越えられるんだなと思った。
- リンが親に反対されながらも歌う事を続けていく姿に感動した。
- お父さんやお母さんのいない生活の苦しさが感じられた。リンとのコンビをお父さんに最後に聞いてもらえて良かった。
- この話のつづきを読みたいと思いました。